

おしらせ

橋北地区市民センター

TEL 331-3787

FAX 330-0220

平成 29年 9月 20日

No. 12

10月行事予定

- 10月 9日 (月) ジョギング&ウォーキング講座
- 10月12日 (木) おとなの小学校②
- 10月17日 (火) 伊勢型紙講座 I
- 10月17日 (火) 巡回行政相談
- 10月19日 (木) おとなの小学校③ 社会見学
- 10月24日 (火) 伊勢型紙講座 II
- 10月26日 (木) 食と運動の輪 すこやか倶楽部
- 10月26日 (木) 自動車文庫



橋北おとなの小学校講座・一般聴講生募集!

日時：10月12日(木) 9時30分～10時30分
場所：橋北交流会館1階地域活動室
テーマ：「がん予防のおはなし～予防しよう、そして早く発見しよう～」

橋北おとなの小学校社会見学・一般参加者募集!

日時：10月19日(木) 7時20分出発、17時30分頃橋北地区到着
行き先：UCC上島珈琲(株)滋賀工場見学、近江八幡散策
参加費：5,000円(昼食代込み。参加人数により一部金額の返却や追加徴収することがあります)

申込方法：事前に橋北地区市民センターまでご連絡ください。
参加人数が上限に達し次第、締め切りとなります。

TEL：331-3787



橋北小学校給食パートを募集(10月中旬からの勤務です)

- ◇募集職種・・・小学校給食調理員補助(給食パート) 1名
- ◇業務内容・・・給食調理、運搬、後片付け、調理場清掃など
- ◇勤務日・・・給食実施日(春・夏・冬休みは勤務なし)
- ◇勤務時間・・・午前8時30分～午後3時15分(労働時間6時間)
- ◇時間給・・・910円(通勤距離が片道2km以上の場合、通勤費を別途支給)
- ◇申し込み・・・応募を希望される方は教育総務課(Tel 354-8236)に電話のうえ履歴書を提出して下さい。書類選考のうえ、面接します。
- ◇応募期間・・・9月20日(水)～10月4日(水)



お知らせします



1. 雨どいの交換、排水管の洗浄等について

最近、雨どいや、排水管等、住宅に関する工事を格安の料金で行うことができる旨のチラシが配布されています。業者によっては多額の支払い請求を受ける場合もありますので、すぐに契約をせず、周囲の人に相談をしていただきますようお願いいたします。このような場合、ご契約の前に一度、1つの業者だけではなく、何社かに対して見積もりを取っていただき、比較することをおすすめします。

2. 今後の対処方法

今後も同様なケースの発生が予想されます。おかしいな、と感じたら早めに、四日市市 市民・消費生活相談室の消費者相談専用電話（354-8264）までご相談ください。

連絡先・この文書に関する問い合わせ

四日市市役所 介護・高齢福祉課 TEL：354-8170

四日市市 市民・消費生活相談室 TEL：354-8147



「食と運動の輪★すこやか倶楽部」のご案内



ロコモティブシンドローム予防のお話や楽しい運動を紹介します。
食生活については「食生活改善推進員」が、
運動については「ヘルスリーダー」が担当します。

日にち：10月26日（木）
時間：10：00～11：30
会場：橋北地区市民センター
対象：おおむね65歳以上の市民
定員：30名程度（申込不要）
参加料：無料（試食あり）
持ち物：タオル、お茶、筆記用具
その他：運動しやすい服装でお越し下さい
【問い合わせ先】四日市市健康づくり課
TEL：354-8291

“簡単おかず”の
試食もあります♪





「行政相談」ってご存じですか？

「行政相談」とは、国やNTTなどの特殊法人等の仕事について、みなさんから苦情や意見、要望をお聞きし、その解決の促進を図る制度です。

総務省では、この行政相談制度をみなさんにもっとよく知っていただき、利用していただくため、10月16日(月)から22日(日)までの一週間を「行政相談週間」として、全国的にいろいろな行事を行います。

この週間にちなんで、当市でも、次のとおり「行政相談所」を開設します。

年金、保険、税金、登記、道路、福祉など役所の仕事について、お気軽にご相談ください(下記参照)。

と き 平成29年10月17日(火) 午後1時～4時
と ころ 橋北地区市民センター 2階会議室

(※橋北地区以外の方のご相談にも応じます)

「行政相談委員」とは、総務大臣が委嘱している民間有識者で、みなさんの身近な相談相手です。ご相談は無料で、相談者の秘密は固く守ります。

○お問い合わせ先

市民生活課 市民・消費生活相談室 (☎354-8147)

なお、当日ご都合の悪い方は、次のところで行政相談にに応じていますので、ご利用ください。

〒514-0033 津市丸之内26-8 津合同庁舎3階
総務省 三重行政監視行政相談センター 行政監視行政相談課

おこまりなら まるまる くじょー ひゃくとおばん

0570-090110

平日8:30～17:15



- (注) 1 土・日・祝日・上記以外の時間帯は留守番電話で対応します。
2 PHS、IP電話などをご利用の場合は059-227-1100
3 ご相談のお電話は、相談内容の正確な把握のため、録音させていただいています。

一般社団法人700MHz利用推進協会によるチラシの配布・訪問について

現在使われていない電波帯を携帯電話の電波帯として利用するにあたって、10月19日(木)～11月13日(月)までに試験電波の発射を行う予定です。その影響でテレビの映像に影響がでる可能性があるお宅には事前にチラシを配布し、対策が必要なところは訪問・説明し、対策工事を行います。

この説明や調査、対策工事に関して費用を請求することは絶対ありません。また、物品の販売をすることもありません。訪問する作業員は「テレビ受信障害対策員証」を携行しています。不審に思われた場合は提示を求め、コールセンターへお問い合わせください。



700MHz テレビ受信障害対策コールセンター
0120-700-012 (受付時間 9:00～22:00)

※この記事に関してのお問い合わせは市民・消費生活相談室へ TEL: 354-8147

通知カード、マイナンバーカード（個人番号カード）について

★通知カード、マイナンバーカード（申請した人）の受け取りについて

①通知カード、マイナンバーカード（申請した人）について、まだお受け取りいただけていない場合には、市民課までご連絡ください。

②マイナンバーカードを申請してから数カ月以上経過しているにもかかわらず、市役所から受け取りの案内文書が届いていない場合は、市民課、またはマイナンバーコールセンター（0120-95-0178）までお問い合わせください。

※マイナンバーカードを申請するに当たり、「個人番号カード交付申請書」の氏名・住所などに変更があると、申請は受け付けられません。

★マイナンバーカードのメリットの例

①マイナンバーの提示と本人確認を同時に行うことができます。

②e-Taxなどの電子申請ができます。

③平成29年秋ごろには、マイナポータルが開設され、行政機関の間での自分の個人情報のやりとりが、自宅のパソコンなどから確認できるようになる予定です。

④本市でも平成31年初めごろに、コンビニなどで住民票、印鑑登録証明書などの取得ができる見通しです。

★市民窓口サービスセンターにおける業務の停止について

①システムの入替作業により、下記の日時において戸籍に関する証明書の発行ができません。

日時：10月7日（土）、8日（日）終日

場所：市民窓口サービスセンター（近鉄四日市駅高架下）

②点検作業のため、下記の日時は臨時休業します。

日時：11月11日（土）、12日（日）終日

場所：市民窓口サービスセンター（近鉄四日市駅高架下）



ご迷惑をおかけしますが、ご理解、ご協力のほどお願いします。

お問い合わせ 市民課（TEL：354-8152 FAX：359-0282）

平成30年度一般財団法人自治総合センターによるコミュニティ助成事業の募集

一般財団法人自治総合センターでは、宝くじ収入を財源に、コミュニティ活動に対し助成を行っています。

平成30年度の助成を希望するコミュニティ組織は、地区市民センターまでご連絡ください。

●助成対象団体 コミュニティ組織（自治会、町内会など地域に密着して活動する団体）・自主防災組織

●募集する事業
①一般コミュニティ助成事業
②コミュニティセンター助成事業
③青少年健全育成助成事業
④地域防災組織育成助成事業



●書類提出期限 ①②③については、平成29年10月4日（水）までに市民生活課へ④については、平成29年10月4日（水）までに危機管理室へ

※制度の詳細は、一般財団法人自治総合センターのホームページをご覧ください。

<http://www.iichi-sogo.jp/>

四日市市こども子育て交流プラザへ遊びに行こう

4月にオープンした『こども子育て交流プラザ』は、年末年始を除き毎日開館しています。季節の行事やスポーツ活動、創作活動など、さまざまなイベントを開催しています。ボール遊びやバトミントン等ができる広い多目的ホールや、クッキングルーム、工作室や図書室など、充実した施設で雨の日も遊べます。また幼児と保護者が楽しめる「すくすく広場」や「あそび広場」も実施しています。ぜひ、ご来館ください！！



【主なイベント日時・内容】

※参加料は無料です。

10月14日 (土曜日)	①11:00~12:00 ②13:15~14:15 ③14:30~15:30	『秋で遊ぼう』 自分の好きな秋の木の実を持ってきて、作ったり遊んだりしよう！	事前申込：不要 対象：幼児・小学生 (未就学児は保護者同伴) 定員：なし もちもの：秋の木の实や秋のもの
10月15日 (日曜日)	13:00~15:00	『家族の日 秋のプラザ運動会』 プラザのひろばで簡単な運動会をしよう！ 様々な競技を家族と一緒に楽しもう！	事前申込：不要 対象：小学生以上とその家族 定員：なし 
10月28日 (土曜日)	13:00~16:00	『ハロウィンイベント 【秘密の呪文を唱えよう】』 秘密の呪文を完成させて、スタッフに唱えよう！ 唱えるといいいことがあるよ！	事前申込：不要 対象：小学生 定員：なし 

四日市市こども子育て交流プラザ

四日市市東新町26番32号 橋北交流会館5階

TEL：330-5020

FAX：334-0606

橋北交流施設のご案内

4月1日、旧東橋北小学校跡に「橋北交流会館」が全館オープンしました。3階は40人用~80人用の貸室があり、研修・勉強会や各種サークル活動、ヨガなどのフィットネスといった多目的に利用できる交流施設となっています。お気軽にご利用下さい。

【施設使用料】

区分	基本使用料(円)			
	午前	午後	夜間	全日
	9:00~12:00	13:00~16:30	17:30~21:00	9:00~21:00
第1~5会議室	860	1,300	1,980	4,140
第6会議室	1,300	1,730	2,380	5,410

※プロジェクター・マイク・アンプセットなどの備品も貸出(有料)しております。

橋北交流施設 四日市市東新町26-32 橋北交流会館3階

連絡先 TEL：330-5004 FAX：330-5006

受付時間 9:00~17:00

休館日 火曜日(火曜日が祝日の場合は翌日が休館)・年末年始

第6回全国ファミリー音楽コンクールinよっかいち 観覧者募集



「家族」と「絆」をテーマに全国から応募があった中から、予選を勝ち抜いた15家族が四日市を舞台に腕を競い合います。

それぞれの個性が輝くバラエティ豊かな家族の演奏による音楽コンクールに、是非、みなさまお誘い合わせの上、お越してください。

日時 10月15日(日) 13:00開演(12:20開場)
場所 四日市市文化会館第1ホール
入場料 無料(入場整理券が必要です。)



- ※入場整理券を9月20日(水)から配布します。(お一人につき4枚まで)
- ※配布場所は、文化振興課、四日市市文化会館、三浜文化会館、あさけプラザ、各地区市民センター、男女共同参画センターです。
- ※往復はがきでの申し込みもできます。(はがき1枚につき4人まで) 10月5日(必着)までに「往復はがき」の往信用裏面に音楽コンクール入場整理券希望と明記し、(1)郵便番号(2)住所(3)名前(グループの場合は代表者名)(4)電話番号(5)希望枚数(はがき1枚につき4人まで)を記入のうえ、〒510-8601 四日市市文化振興課までお送りください。なお、申し込み期限内であっても定員に達した場合は整理券(返信はがき)をお出しできない場合がありますのでご了承ください。詳しくは文化振興課(電話 354-8239)へお問い合わせください。

平成29年度 はもりあ四日市DV防止講演会

「夫婦げんか」とDVの違いわかりますか？」

DVの実態とその社会背景を踏まえ、「夫婦げんか」と「DV」はどう違うのかを学ぶことで、夫婦や恋人など大切な人との関係を考えてみる機会としませんか。

講師 貝 ゆり さん

ウィメンズカウンセリング
名古屋YWCA
フェミニストカウンセラー

★日時 11月16日(木)

13:30~15:30(開場13:00)

★場所 四日市市総合会館 8階 第4会議室

★定員 70名(10月3日(火)9時受付開始、定員になり次第〆切)

★参加費 無料

★託児 あり・先着10名程度(無料、6カ月から未就学児)
10月31日(火)までにお申し込みください。

◆お問い合わせ・お申し込み◆

四日市市男女共同参画センター「はもりあ四日市」

四日市市本町9番8号 本町プラザ3階
TEL: 354-8331 FAX: 354-8339

Eメール: [kyoudousankaku@city.yokkaichi.mie.jp](mailto:kyoumousankaku@city.yokkaichi.mie.jp)

11月12日~25日は、
「女性に対する暴力を
なくす運動」期間です。



女性に対する暴力根絶
のためのシンボルマーク



橋北地区の皆さん、こんにちは。

8月が過ぎて暦は秋に入り、朝夕はめっきり涼しくなってきましたが、日中はまだまだ暑いですね。そろそろ夏の疲れも出始めるころ、体調には十分お気をつけください。

さて、今回センターからおすすめする本は、

「コンチキ号漂流記」 ハイエルダール・著

「コンチキ号漂流記」と聞けば、ダニエル・デフォーの「ロビンソン・クルーソー」やジュール・ヴェルヌの「十五少年漂流記」などの創作物の漂流記を思い浮かべる方も多いかもしれません。

ですが、この「コンチキ号漂流記」は実在の人類学者で、この本の著者でもあるトール・ハイエルダールが、実際に自作のいかだで南米ペルーから南太平洋のポリネシアを目指して、距離にしておよそ8千キロもの旅をした航海記であり、20世紀の記録文学の傑作と称えられている作品です。

物語はまず、人類学者であるハイエルダールが、何故いかだでとてつもない距離の航海をしようと思いついたか、というところから始まります。

南太平洋のマーケサス島というところで、島の歴史を調べていたハイエルダールは、一人の老人から島に伝わる伝説について聞きます。その伝説とは、マーケサス島の先祖を島に連れてきたのは「チキ」という名の太陽神である、というものでした。その話を聞いて、ハイエルダールはふと、島にあるチキの石像が南米にある石像と似ていることに気づきました。そして南米インカ文明について調べると、インカの太陽王の名がコンチキ（太陽チキ）であることがわかります。

マーケサス島と南米に相通ずる、この共通点からハイエルダールは、ポリネシアの人々が南米から海を渡ってきた可能性に思い当たります。この仮説に興奮したハイエルダールは他の学者に話をしますが、その反応は冷たいものでした。古代の人々が未発達な技術で太平洋を横断できるわけがない、というのです。

そこでハイエルダールは自説を証明するため、自らいかだを作成して南米からポリネシアまでへの航海に挑戦します。古代の人々が太平洋を横断したと証明するため、いかだ自体もインカ時代のいかだを再現する形で作り直しました。

「コンチキ号漂流記」は、ハイエルダールの挑戦、仲間あつめからいかだ作り、そして南米を出発してポリネシアに漂着するまでの胸躍るような冒険譚となっています。センターのおいてあるものは偕成社から出版されている児童向けの書となっています。しかし、少し表記は児童向けにくだいた文章になっているものの、大人が読んでいただいても十分楽しんでいただけるものと思います。センターにお越しの際は児童書コーナーにも、ぜひ目を向けてみてください。



弾道ミサイル落下時の行動について

弾道ミサイルは発射からわずか10分もしないうちに到達する可能性もあります。このため、ミサイルが発射されたときや日本に落下する可能性があるときは、国からの緊急情報を特別なサイレン音とともに、防災行政無線をはじめ、緊急速報メール、ホームページ、緊急告知ラジオ、テレビ、広報車、防災行政無線※等を通じて伝達し、避難を呼びかけます。

また、警報が発令されたときは、迅速に対応できますように、近くの頑丈な建物や地下に避難するなど皆様ひとりひとりのとるべき対応をあらかじめ知っておくことが必要です。（下記：内閣官房「弾道ミサイル落下時の行動について」参照）

※ 防災行政無線(サイレン・音声放送)の内容を自動応答で確認することができます。

TEL : 351-4004

●お問い合わせは

危機管理室 ☎354-8119 Fax350-3022



弾道ミサイル落下時の行動について

弾道ミサイルは、発射からわずか10分もしないうちに到達する可能性もあります。ミサイルが日本に落下する可能性がある場合は、国からの緊急情報を瞬時に伝える「Jアラート」を活用して、防災行政無線で特別なサイレン音とともにメッセージを流すほか、緊急速報メール等により緊急情報をお知らせします。

①速やかな避難行動

②正確かつ迅速な情報収集

行政からの指示に従って、落ち着いて行動してください。



国民保護ポータルサイト

武力攻撃やテロなどから身を守るために



事前に確認しておきましょう。

http://www.kokuminhogo.go.jp/shiryu/hogo_manual.html

— ミサイル落下時には、こちらから政府の対応状況をご覧になれます —



首相官邸

ホームページ

www.kantei.go.jp/



Twitterアカウント

首相官邸災害・危機管理情報

@Kantei_Saigai



Jアラート (例)直ちに避難。直ちに避難。直ちに頑丈な建物や地下に避難してください。ミサイルが落下する可能性があります。直ちに避難してください。

メッセージが流れたら

落ち着いて、直ちに行動してください。

屋外に
いる場合

できる限り頑丈な建物や
地下に避難する。

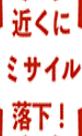
地下：地下街や地下駅舎などの地下施設

建物が
ない場合

物陰に身を隠すか、
地面に伏せて頭部を守る。

屋内に
いる場合

窓から離れるか、
窓のない部屋に移動する。



- 屋外にいる場合：口と鼻をハンカチで覆い、現場から直ちに離れ、密閉性の高い屋内または風上へ避難する。
- 屋内にいる場合：換気扇を止め、窓を閉め、目張りをして室内を密閉する。

